

CSSのきほん

Webページの
見た目を整える
しくみと歴史

いろ おお はいち き
色・大きさ・配置 — Webページの「見た目」を決めるのがCSS。

1 どんな役わり?

HTML (中身) はそのままに、
見た目だけをまとめて指定できる。

- 色・文字・大きさ
- 配置やレイアウト
- 1つで全ページ統一
- 中身と見た目を分ける

HTML (中身) は同じ

わたしたちの町には、
たくさんの自然があり、
みんなで大切にしています。

CSSで
見た目を
変える

わたしたちの町には、
たくさんの自然があり、
みんなで大切にしています。

わたしたちの町には、
たくさんの自然があり、
みんなで大切にしています。

2 書き方

「どこを」「どうする」をセットで書く。

- どこを = セレクタ
- どうする = プロパティ
- 例 color: red;
- 後の指定が優先 (カスケード)

セレクタ
(どこを)

プロパティ
(どうする)

値 (あた)

```
p { color: red; }
```

1つのルール (セット)

3 画面に合わせる

スマホでもパソコンでも見やすく変化させる
(レスポンス)。

- スマホ/PCで切替
- メディアクエリ
- FlexboxやGridで配置



4 歴史

1996年にCSS1が登場。
ホーコン・リーが提案した。

- 1996年 CSS1
- 提案はホーコン・リー
- CSS3でモジュール化
- 今も進化中

1996年
CSS1
登場

基本的な
スタイル指定

1998年
CSS2

表現の
幅が広がる

2001年
CSS3
スタート

新しい機能を
追加

2012年
頃~
モジュール化

必要な機能を
組み合わせる

いま
現在
今も
進化中

中身はHTML、見た目はCSS

